

# 貧血への介入は有効か

兵庫医科大学内科学循環器内科 内藤 由朗

## KEY WORDS

- 貧血
- 鉄欠乏
- HFrEF
- HFpEF

## はじめに

心不全患者は、急性心不全、慢性心不全、どちらにおいても貧血を合併する。心不全患者では、ポンプ失調による体液貯留のために貧血を生じると考えられるが、心不全における貧血の原因は一樣ではない。

本稿では、心不全患者における貧血の原因、治療介入についての現状と展望を考える。

## I. 心不全患者における貧血

世界保健機関 (World Health Organization ; WHO) の貧血の診断基準 (血中ヘモグロビン値 : 男性13.0g/dL未滿, 女性12.0g/dL未滿) を用いると、心不全患者は貧血を高率に合併することがわかる。その合併率は、heart failure with reduced ejection fraction (HFrEF), heart failure with preserved ejection fraction (HFpEF) に関わらず、

入院が必要な急性心不全で約50%、症状の安定した慢性心不全で約30%と報告される。

日本で行われた急性心不全による入院患者を対象にした2つの臨床研究 (ATTEND研究, JCARE-CARD研究) の結果では、登録患者の約60%に貧血を合併していたことが報告されている<sup>1)2)</sup>。一方、慢性心不全の外来患者を対象としたCHART-2研究では、登録患者の35%に貧血を合併していたことが報告されている<sup>3)</sup>。心不全患者における貧血の合併については、日本だけでなく欧米などの諸外国においても検討されており、諸国により貧血の診断基準は異なるものの、心不全患者における貧血の高合併 (約15~60%) が報告されている。以上の結果より、心不全患者は、急性心不全、慢性心不全、HFrEF, HFpEFにかかわらず、貧血を高率に合併することがわかる。

心不全患者の貧血の原因については、血液希釈、骨髓造血能低下、エリ

Intervention for anemia in heart failure.

Yoshiro Naito (講師)